

テクノメタル 環境報告書 **2020**

目 次

ご挨拶	2
会社概要.....	3
環境マネジメント	4
地球温暖化防止	5
廃棄物の削減	7
有害物質の管理	8
事業活動の環境負荷	9
環境保全、地域社会及び社員との共生...	10



テクノメタルは イノベーションの創出で 貢献できる企業に！

— *Challenge the Impossible* —



代表取締役社長

環境基本方針

当社は、天然資源やエネルギーを多く消費する企業であり、自然環境の保護・保全が地域環境はもとよりグローバルな重要課題であることを認識し、環境改善と地域との共生を推進します。

現在の日本経済を取り巻く環境は、少子高齢化による人材不足、消費者のニーズの多様化により売上拡大や、事業承続において課題を抱えています。更に新型コロナウイルスの影響で国内外での経済活動が大幅に減少した影響で、日本経済は非常に厳しい状況にあり、緊急事態宣言が解除された5月を底に、持ち直しの動きがみられますが、経済の正常化には長期間を要すると思われます。これからの社会は、さらなるIT化の推進と活用、国内外のニーズの変化に伴い非常に大きな変化を迎えると予想されます。

環境面では、激甚化する自然災害などにより、国際社会が気候変動に対する危機感を強める中、パリ協定における長期目標の一つである「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べ、1.5℃以内に抑える努力をする」を当社としても整合する目標を掲げることは、持続可能な開発目標(SDGs)の目標実現に向けて貢献する事と考えます。特に2050年カーボンニュートラル(CO₂排出実質ゼロ)は達成が極めて困難な挑戦ではありますが、経済成長との両立を図るうえで、革新的技術の開発・普及・すなわちイノベーションが不可欠であり、これは日本の産業競争力の強化にもつながるものであります。イノベーションの創出のため、人材育成に力を入れ、一人ひとりの努力・挑戦・改善を軸に一丸となって目標達成に向け取り組んでいきたいと思っております。

会社概要

社 名 テクノメタル株式会社

所 在 地 本社・二本松工場 福島県二本松市高田100番地
北本工場 埼玉県北本市古市場1丁目100番地

設 立 1971年5月20日

資 本 金 2,530百万円

株 主 Techno-Metal Amtek Japan Investments Ltd.

従業員数 689名(2020年10月1日現在)

事業内容 自動車・建設機械・産業機械用各種鋳造、鍛造及びアルミダイカスト部品の製造販売

主要顧客	三菱ふそうトラック・バス株式会社	三菱重工業株式会社	日野自動車株式会社
	三菱重工業エンジン&ターボチャージャ株式会社	KYB株式会社	UDトラック株式会社
	三菱自動車工業株式会社	株式会社小松製作所	図南鍛工株式会社
	三菱ロジスネクスト株式会社	アイシン高丘株式会社	日産自動車株式会社
	東京ファブリック工業株式会社	浅井ショーワ株式会社	日鉄物産株式会社
	キャタピラージャパン株式会社	井関農機株式会社	日産工機株式会社
	ブラザー精密工業株式会社	株式会社クボタ	
	日立オートモティブシステムズ株式会社		
	パーキンスジャパン合同会社		

沿 革

1970年06月	三菱重工業(株)から三菱自動車工業(株)が分離
1971年05月	三菱自動車工業(株)の全額出資により「東北三菱自動車部品(株)」として設立
1981年04月	東菱機工(株)を吸収合併し北本工場とする
1992年10月	社名を「三菱自動車テクノメタル(株)」と改称
2003年01月	三菱ふそうトラック・バス(株)が三菱自動車工業(株)から当社株式を継承
2003年03月	ISO14001(環境)認証を取得
2003年10月	社名を「三菱ふそうテクノメタル(株)」と改称
2004年06月	ISO9001(品質)認証を取得
2006年02月	旭テック(株)が筆頭株主となる。社名を「テクノメタル(株)」と改称
2007年05月	ISO/TS16949(品質-自動車)認証を取得
2007年08月	旭テック(株)が当社株式を100%取得
2015年06月	Amtek Auto社が当社株式を100%取得。
2017年11月	テクノメタル(タイランド)社を子会社化

■環境管理 2019年度活動目標と実績

2019年度環境改善活動結果について、以下に示します。

エネルギー使用量削減は、目標を満足する結果が得られています。また、法令順守については、大気、水質、騒音等の規制値順守を含め適正であることを確認しました。

活動項目	目標	実績	評価	2020年度活動目標
1. 天然資源の有効活用 〔1〕エネルギーの有効活用 エネルギー使用量削減	2019年度エネルギー使用量 計画の1%削減を目標に 活動 ・二本松工場 575kℓ ・北本工場 18.5kℓ	・二本松工場 584.0kℓ ・北本工場 17.9kℓ	○	エネルギー原単位実績により得られる2020年のエネルギー使用計画量の1%低減を目標として活動
〔2〕荷主に係わる省エネ	目標≤28.28kℓ/百万トンキロ	28.2kℓ/百万トンキロ	○	2019年度実績の1%低減
2. ゼロエミッションの実現 埋立処分率低減 再資源化率向上	二本松工場 ・埋立処分率≤0.31% ・再資源化率≥98.64% 北本工場は維持管理	二本松工場 ・埋立0.33% ・再資源98.35%	△	二本松工場 ・埋立処分率≤0.30% ・再資源化率≥98.64%
3. 環境改善 〔1〕法令順守	順守率100%	・法令違反なし ・排出規制値順守良好	○	順守率100% 法令改正確認の徹底
〔2〕公害未然予防	・粉塵飛散対策 ・油・濁水流出防止 ・悪臭防止	・工場天井ファンからの飛散防止ネット効果確認と清掃実施 ・排水処理施設能力調査と油流出を想定した訓練実施 ・鋳造新設設備臭気回収、添加物改良推進 *苦情: 特段の苦情なし	○	・粉じん飛散低減 ・油・濁水流出防止 ・悪臭未然防止 ・機械加工油脂類漏洩対策
4. 有害物質の使用量低減	・化学物質リスク評価 ・有害物質使用量低減	・既存、新規化学物質リスクアセスメント実施 ・PRTR報告対象製品の代替え化	○	・化学製品のリスクアセスメント実施 ・有害化学物質含有資材の代替え推進
5. 環境配慮製品開発、設備計画の実施	・新製品、製造工程の環境負荷低減 ・設備の計画、工事時の環境影響評価実施	・製造工程設計時の環境配慮折込 ・環境影響評価実施し、著しい影響項目なし	○	・環境に配慮した製品及び生産工程の構築
6. 社会貢献、地域社会との共生	・地域活動参加 ・工場周囲環境点検 ・地域活動への協賛 ・地域住民、社員家族対象イベント開催	・クリーンアップ作戦 剣道大会、納涼祭 ・外構点検 ・提灯祭り、菊人形協賛 ・緑地・遊歩道開放体験デー開催	○	・社会貢献活動の計画と実施

地球温暖化防止

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



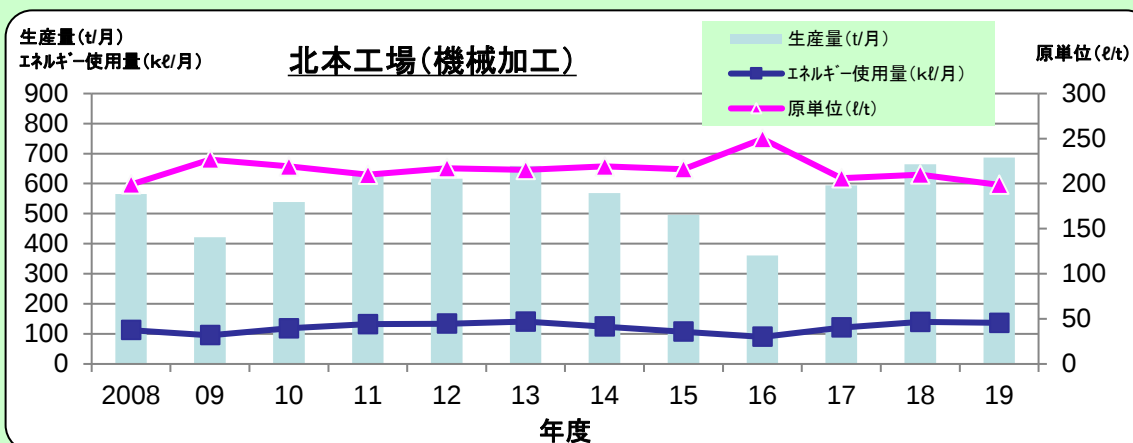
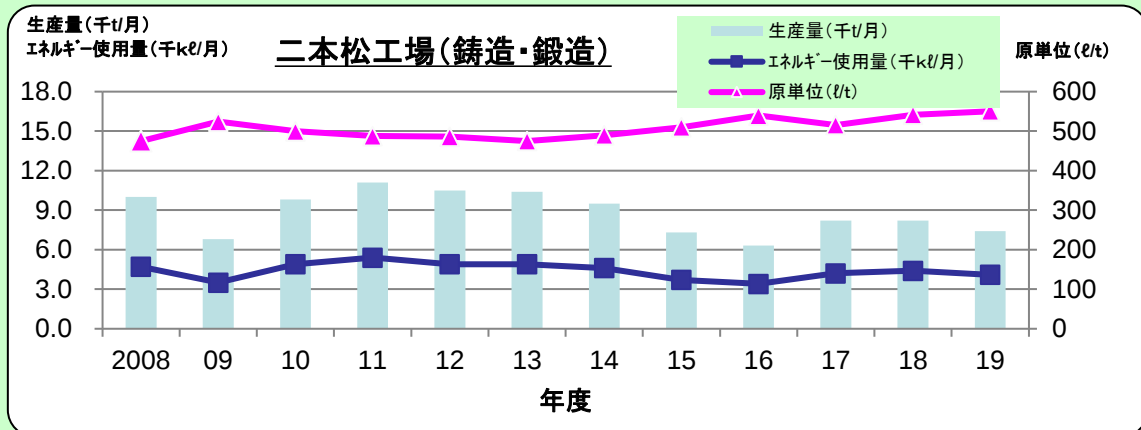
9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



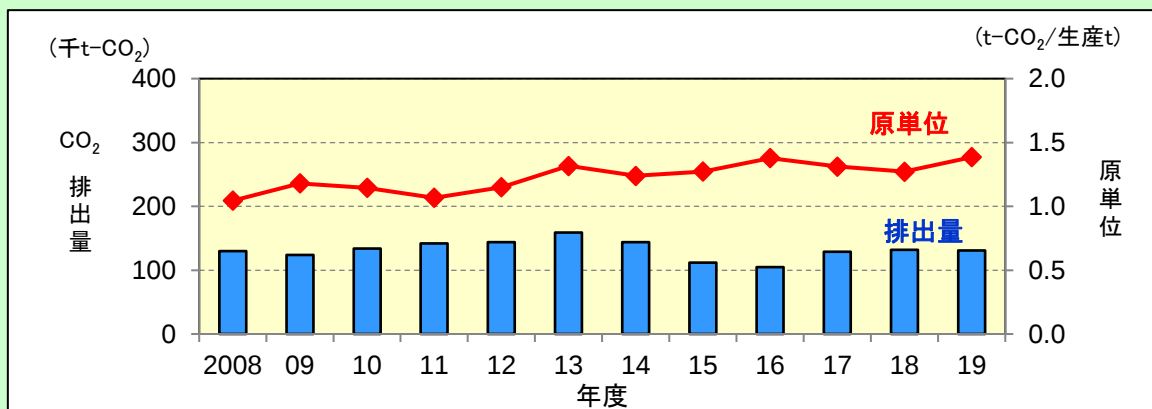
■省エネルギーの推進

当社は、鑄造、鍛造メーカーとして多くの電力や燃料を消費しており、また二本松工場では17年以降、製品の付加価値を上げるため、加工を取込み事業を拡大しております。省エネ及びCO₂の排出抑制を環境改善活動の重要テーマとして取り組んでいます。

◆エネルギー使用量、原単位の推移



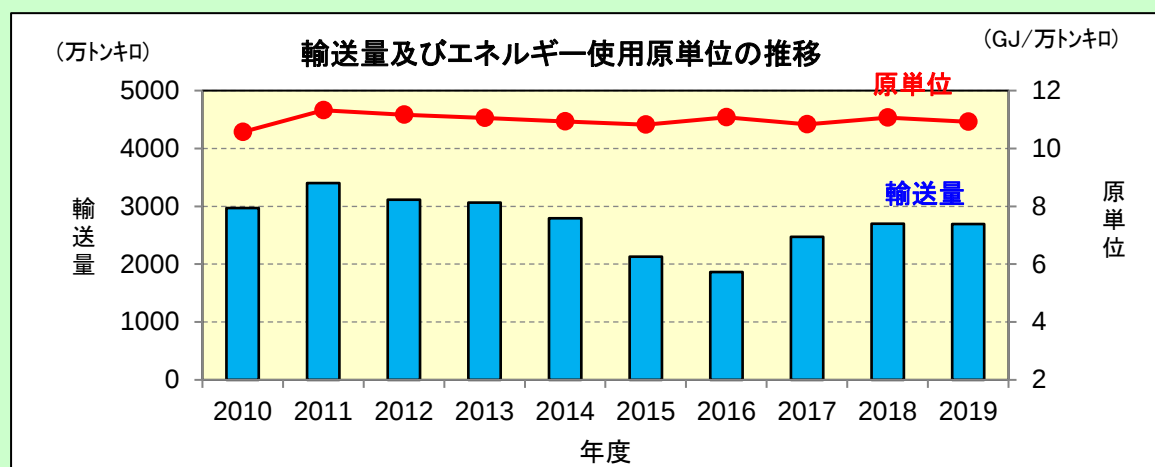
◆CO₂排出量と原単位の推移



地球温暖化防止

◆製品輸送等に関わる省エネ活動

輸送業者及び顧客と連携して、直送化、加工付受注、アイドリングストップ活動、及びデジタコによる燃費管理推進等の活動を実施しています。



対象エネルギー：製品関係の輸送用燃料
産業廃棄物関係の輸送用燃料

毎年、2月の省エネルギー月間と8月には省エネキャンペーンと題して省エネ意識向上を目的とした各種行事を展開しています。



省エネ点検



省エネ講話

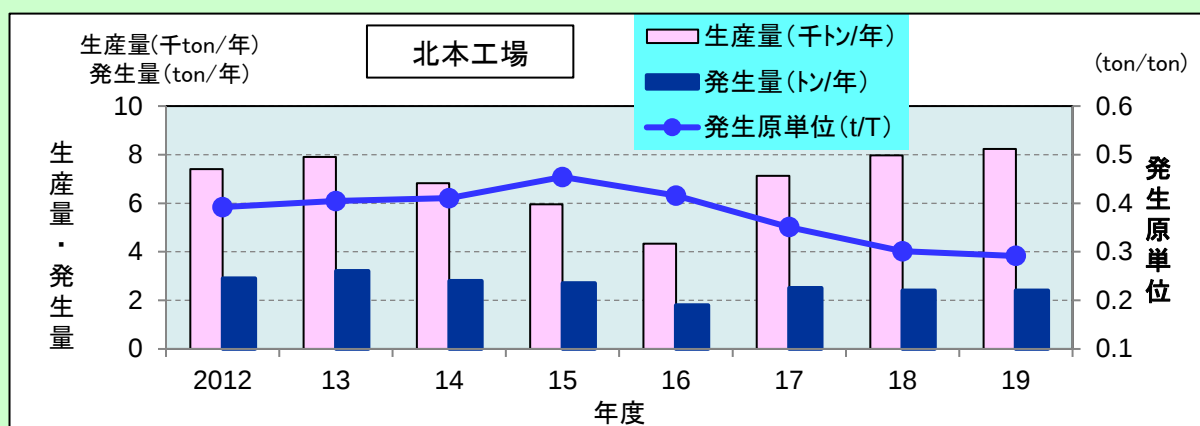
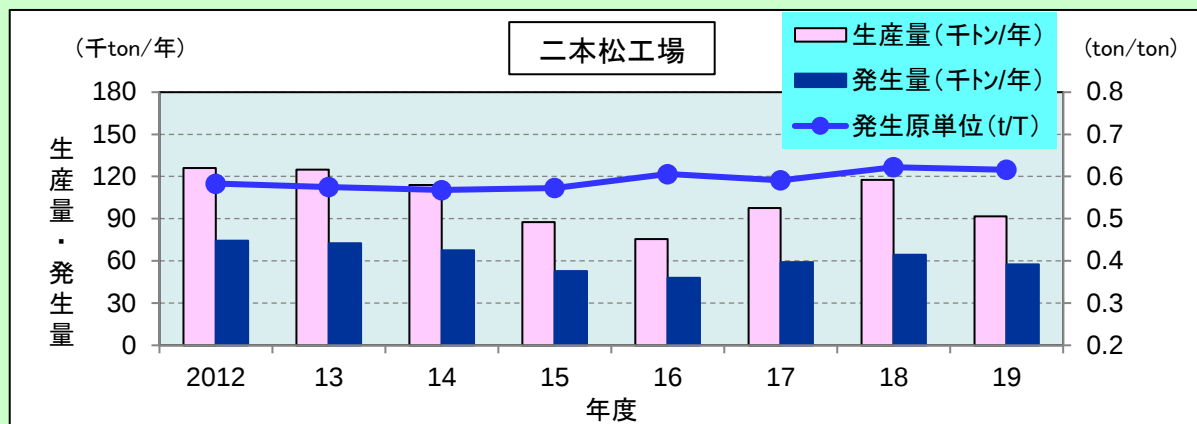
廃棄物の削減



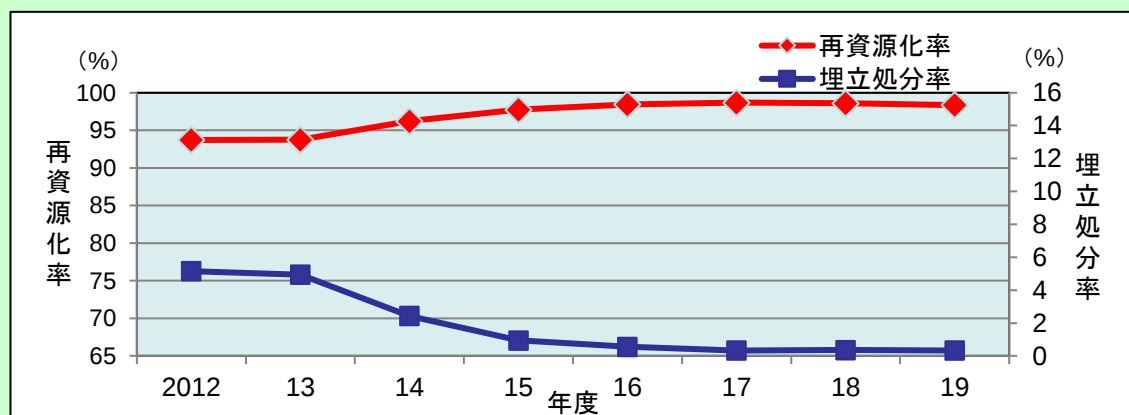
■廃棄物発生量の低減

生産活動ではさまざまな種類の廃棄物が発生します。当社では、廃棄物も貴重な資源と考え、全社員が知恵をしぼり、再利用による減量化や再資源化の拡大などに取り組んでいます。また、再資源化利用の有価物化を目指す活動も積極的にも取り組んでいます。

◆生産量と廃棄物発生量の推移



◆再資源化率と埋立処分率の推移(二本松工場)





■PCB（ポリ塩化ビフェニルの管理）

二本松・北本工場共に、PCBを含む使用済みコンデンサー類を保管しており、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に定める基準により適切に保管・管理しています。
現在使用中の物を含め、定められた期限内の処置を進めていきます。

◆ PCB保管状況

コンデンサー	保管数量	北本工場	2台
トランス	保管数量	二本松工場	0台
	使用設置数量	二本松工場	6台
安定器	保管数量	二本松工場	153台
		北本工場	1台

■PRTR

二本松、北本両工場は、PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）に基づく、指定化学物質の排出・移動量の報告義務を有し、その結果を各県知事に報告、届出しています。

事業活動の環境負荷

■環境負荷の状況(二本松工場)

当社では、鑄造、鍛造事業の生産活動に使用される、エネルギーや原材料、水、化学製品等のインプットと、製造過程で発生する廃棄物や排水、化学物質の排出量等のアウトプットを定量化、管理し、環境負荷低減活動に活用しています。

以下に2019年度の環境負荷を示します。

製品

鑄造: 67,704 ton

鍛造: 24,107 ton

アルミ: 2,482 ton

化学物質の排出

PRTR排出量: 42 ton

廃棄物の排出

廃棄物発生量: 57,576 ton

リサイクル量: 56,625 ton

最終埋立量: 188 ton

水系への排出

排水量: 382,196 m³

BOD排出量: 0.92 ton

COD排出量: 2.59 ton

SS排出量 : 0.83 ton

大気への放出

SO_x排出量: 21.3 ton

NO_x排出量: 60.7 ton

煤塵排出量: 12.4 ton

温室効果ガス

CO₂排出量: 131千ton-CO₂

エネルギーの使用

電力: 34,637 kℓ

燃料: 14,395 kℓ

原料の使用

鑄造: 67,351 ton

鍛造: 30,152 ton

アルミ: 3,354 ton

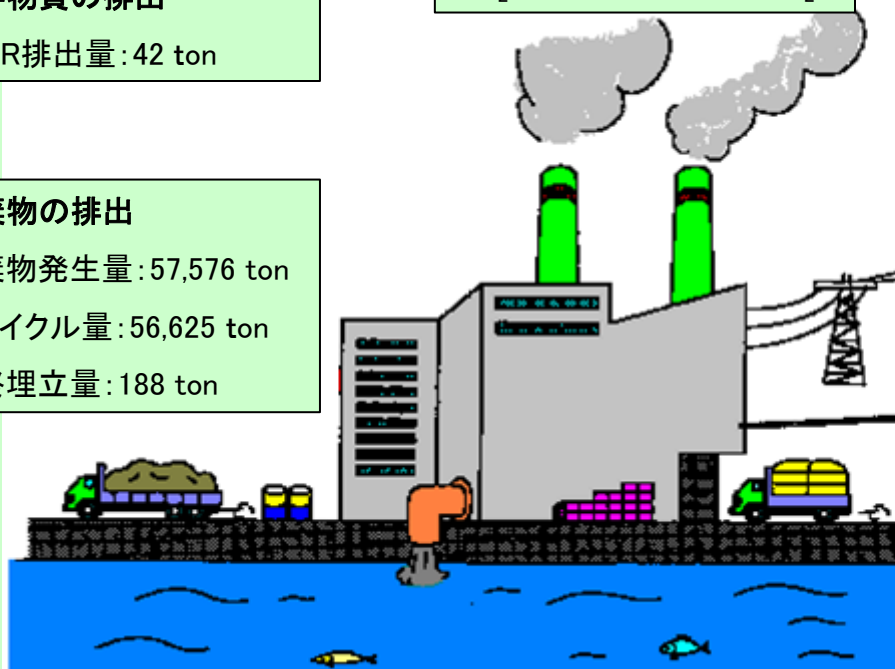
化学物質の使用

PRTR使用量:
338ton

水の使用

上水: 81,543 m³

工水: 391,713 m³



環境保全、地域社会及び社員との共生



■環境保全活動

環境保全委員会の活動を通して、環境改善・環境保全を継続的に進め、「環境にやさしい企業」を心掛けています。

◆構内緑化活動

二本松工場、北本工場ともに、構内は多くの樹木が植えられ、目で四季を感じられます。

二本松工場の北側緑地には、遊歩道を整備しており地元でも名所のひとつとなっています。



◆環境月間行事

環境月間行事

〔活動内容〕

- ・期間中広報ポスターを各職場に掲示して意識高揚を図る。
- ・環境点検
- ・工場周囲クリーンアップ清掃活動
- ・各職場クリーン改善活動・点検



◆工場周辺の環境整備

毎年6月と12月に、工場周辺の環境点検、ごみ拾いを行っています。また、草刈や樹木剪定も定期的に行い、環境整備に努めています。

■ステークホルダーとの交流・貢献活動

◆ステークホルダーとの交流



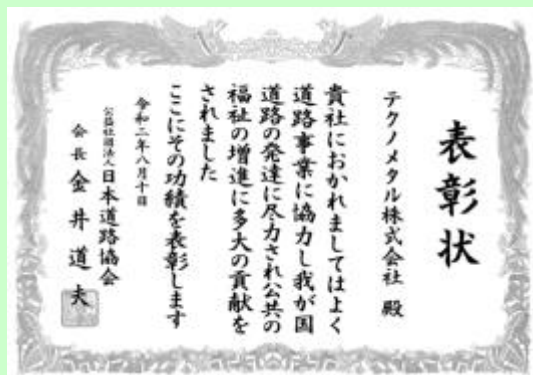
二本松工場 花見遊歩道一般開放

二本松工場北側の緑地は、4月になるとソメイヨシノをはじめレンギョウ、モクレン等、多くの花々が咲き誇り、この時に時期には毎年緑地広場及び遊歩道を一般開放しています。2020年度は、新型コロナウイルスの影響により中止とさせていただきました。



取引先との協調

毎年2回、取引先の皆様を対象に生産情報説明会を開催し、弊社に顕著な貢献をして頂いた取引先様への表彰も行っています。また、説明会後は懇親会を催し、情報交換が賑やかに行われます。



道路功労者表彰受賞

16年間にわたり、毎年2回、近隣企業と連携して実施している国道4号バイパスの清掃活動が認められ、公益財団法人 日本道路協会より表彰を受けました。



MVP/MVT表彰制度

当社では、環境を含む各種活動において優秀な社員及び職場に対し、表彰制度を設けています。社員全員にチャンスがあり、各種活動に対する積極的な取り組みを促すもので、毎年2回開催しています。

◆ 社会貢献



工場隣接道路のクリーンアップ活動



公園草刈・清掃活動



地域行事への協賛
(工場グラウンド貸出)



歳末助け合い募金



地域スポーツ行事への協賛及び後援



二本松提灯祭りへの協賛



二本松菊人形への協賛

テクノメタル株式会社

本社・二本松工場
北本工場

福島県二本松市高田100番地
埼玉県北本市古市場1丁目100番地